

進退記目錄

續外書冊

類	號	函	架	冊	和書門
二	二	六	八	七	二
八	二	二	二	二	四

380

類	號	冊	函	架	庫文閣內	和書
二	二	二	二	二	五	三
八	二	二	二	二	三	三

諸書雜儀

官職
良九ノ二

庫文閣內	番號和	23228
	冊數	7 (1)
	函號	153 380



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ColorChecker logo (C, Y, M)

© Kodak, 2007 TM: Kodak



進退記 目録

忠憲云一名鑑古板

○第一

大意と神

十の条

修節上中下乃事

教ふべき人子取らざる事

路居乃事

目録の事

平伏礼事

式退乃事

時宜し随ふこと事

在安住来乃事

淺草文庫

四四四

御格子出入乃事
書戸の出入れ事
御障子開閉の事
刀をさしぬふ乃事
扇をぬぐぬがぬと事
はめ切らさき乃事
膳乃事

○五振一節 甲二条

右刀目録拵の事
同後拵乃事
同文拵の事
同板拵乃事

同逢申中て文拵後乃事
同一具拵の事
同拵系美人乃目より事
管人拵系の右刀目録拵乃事
右刀目録拵上中下乃事
右刀斗文拵後乃事
右刀を美人に送付事
三人の右刀拵の右刀文拵後乃事
美人と美倉の御酒事
膳樂以下は右刀事
御成の御事と不御事
右刀二振一皮事

左刀と刀と一夜子出事

右刀と打刀一夜子出事

右刀と料足文を返す事

板金被覆乃事

中も右刀の中弓の返折の事

彦書子の扇方を自走く出事

刀をくり進出事

刀川の事

右君人の刀は是れ時拵て事

殿中一献の時公方極く刀進上る事

貴人へ刀の意は日事

服指人の事

具足進上乃事

具足を人の見せる事

腰巻進上乃事

曹ながら意は日事

左刀と具足一夜子出事

弓文を返す事

お城射んとて右人弓を仰出の事

弓を張る事

人乃前出て弓張る事

法を人の志めす事

弓おそ人の礼を事

散るか一の弓進上乃事

右ノと弓一度子進上乃事
弦成糸ノ事

中二

○右扱ノ部 乃千之条

糸矢を後乃事

糸代を出乃事

弓と矢と一度子物事

他人乃弓矢扱事

馬上ノ弓矢糸ノ事

扱を文ノ海事

弓扱を一度子後事

弓扱心乃者子物事

弓と矢筒乃事

弓征矢扱糸乃事

箠と羽を産蓋示事

扱文ノ海事

白人貴人扱歩さ一山射糸ノ事

扱文ノ海事

扱扱露乃事

扱を馬上ノ出事

扱扱一度子糸事

扱を糸ノ世ノ事

扱扱皆一度子糸ノ事

扱扱を引事

乃勝さる也中事

昔と乃勝一度の進事

二つおの妻者と云事

四つおの妻者と云事

七献乃川おと云事

終長刀を文と云事

鞆文と云事

志うけする鞆文と云事

志うけぬ鞆文と云事

鞆と左方文と云事

鞆文と云事

鞆と鞆文と云事

鞆文と云事

鞆おもひ志うけする鞆文と云事

鞆おもひ志うけぬ鞆文と云事

鞆人の御道具中回中者云事

鞆文と云事

鞆文と云事

鞆と左方目録文と云事

鞆と左方文と云事

鞆箱と左方文と云事

鞆袖文と云事

小袖廣蓋子入文を海乃事
小袖蓋子積て出事
袴樂田樂子少袖を事
河原の附小袖ぬき乃事
傾城白拍子小袖を事
小袖子左方をく出事
小袖子左方扇をて出事
袴肩衣更を海乃事
平楽襖ぬき乃事

才三

○五板之部

み千と糸

余新へ進上の馬川て糸事

馬戎人子後事

馬を文を事

馬戎引て魚河目事

二足めの馬魚河目事

鶴至る魚河目事

軍陣乃時馬魚河目事

神馬を引事

棟上柱立の附る引事

兎若虎子るをを世事

如房子馬戎を世事

旅宿まで宿主人沙馬是事

傾城子馬戎給事

御山日多しする事

檜枝家乃事

檜枝家乃事

者檜枝家乃事

瓶子子者歸て拵て事

白鳥を介養子とて事

夜多の鳥更と波乃事

夜多乃鳥養子とて事

夜多乃鳥養子とて事

山の地と田のお二夜と文と事

鳥養子付する事

鳥養子付する事

野中蛇枝家乃事

昆布枝家乃事

荒巻枝家乃事

中口

○名枝之部 五十二条

海を板舁て出る事

夫人乃御前して奥を燒事

夫人の内をよかると事

御能始と名取乃事

穀打席利御免の事

湯出い能乃事

筆を子と目積り

猿樂乃左丈座敷(め)事

猿樂田樂を不道の者に於紙を事

筆を(左)苑かと事

巻教披露乃事

伊勢伊後と廣斗蛇披露乃事

疏の籠披露乃事

御幣乃事

御焼香の時番合指事乃事

白人の代とて焼香の事

笛を事する事

尺八を事する事

笙を事する事

小鼓太鼓指事する事

太鼓指事乃事

琵琶指事乃事

琴指事乃事

鞠指事乃事

鞠乃人教子用事

碁将碁盤指事乃事

双六盤指事乃事

貴人と碁将碁双六木事

硯料紙指事乃事

硯箱子等事

人子等を多しする事

主人の所祝を多く作書する事

硯を好む又柳ヤナギ葉ハを好む事

物の中持系乃事

曆持系乃事

花紙ハナシを好む事

花籠と花と持てある事

立花の時花筵ハナある事

油乃及乃事

燭臺持てある事

蠟燭のよきことある事

舞臺の燭臺の蠟燭のよきことある事

蠟燭とがし替る事

主人夫人の浴衣股めをせしむ事

浴衣ユキを縫めをせしむ事

浴衣ユキの袋めをせしむ事

浴衣ユキの着せ物出乃事

水筵ミヅの着せ物出乃事

風呂ユキの出せ乃事

風呂ユキの使おはし事

浴簾ユキを多く巻上し乃事

○ 浴簾ユキの事 十四卷

御成の時公方様より浴簾ユキの事

五人より左方折紙指腹乃事
河左方此徳物木指腹の事
湯酒乃時人より左方刀指事
懐中乃刀の事
刀川の事
即此壺中袖を印指腹乃事
少袖川乃事
美人乃由女房此取て湯服は事
練黄指腹乃事
引物也指は時乃事
即字中後了
具足鞍抱木指腹乃事

○ 帯指腹乃事

○ 見おし部 九条

人乃具足を足る事
人の舌を足る事
人此矢張る事
人の舌射るを見事
右刀刀足る事
立花を見事
庭宇足指の事
おのやゝ事
笛を足る事

○ 言指し部 十条

勢の人子也事
白人を人の前して親の名を云事
人の名を云事
人の唐名^{カラ}を云事
殿文字を云事
印徳の因也事
馬上也事
夫人(印信)也事
孫子貴既ふ貴既乃事
也て初を(むむ)也事

中又
○配膳し部 十七条

茶乃之仕乃事
夫人風呂ふて茶水也ど事
湯と水也振整事
配膳の人を云事
膳物也乃事
膳を振の事
配膳乃人は也事
配膳の附路也事
川也乃事
夫人物をさしあきれ也事
再進川也事
膳也乃事

膳あくる事

朽持て出る事

食籠朽持て出る事

古器お押お指出る事

所配膳所も長とと足別乃事

○細書部 三十九條

壹おて出る事

瓶子お瓶事

壹おてお瓶事

五式退乃回乃事

壹酒入瓶乃事

砂上中下先別乃事

式之献所者年瓶並出砂乃事

二の壹の砂乃事 舟出陣席陣の砂乃事

壹乃壹乃砂乃事

所流の所砂乃事

所通るめー出ーの所砂乃事

貴人の所壹乃道入とと乃事

所砂瓶一は耐節乃事

瓶子お瓶乃事

所酒加瓶乃事

所瓶乃砂乃事

瓶に別人替る所瓶子文を後乃事

領紙白拍子と瓶子後乃事

か房児お流すも桃子酒事

松子史を渡事

伊酒のわんは海なる事

鬼のこ乃事

神前のお乃事

弓端まで研乃事

馬上乃人子研仕事

鞠の庭まで研乃事

宿をたると人ふ研の事

糞栗田栗ホ子研乃事

庖丁五つ研酌居下乃事

乱酒乃研音曲乃事

と君師出乃研亭白出研乃事

と君他家(師出)の研亭と出研は立研乃事

客人師研は立研研の事

亭と出研を客人方乃人松子研の事

亭と研の研酒を研事

お茶を研事

と(お茶)乃事

湯まで研事

筒乃酒研仕事

分六

○飲食部 七十三條

茶事乃研事

伊酒飲る事

女子口く人ら

酒をいりね事

女子酒をまら

書給る事

返書乃

伊通りめし出のね事

伊流香紙乃

夫人の伊敵乃時香紙乃

こつ書乃之根の事 付出陈帰陣王つ書香紙乃

或之敵乃之根乃

夫人とこつ書香紙乃

書乃書乃之根乃

之書女子の書事

夫人乃奥道乃伊酒飲る事

是之女子奥道をけ

之女子乃御りとめ事

神書紙乃

是之女子酒の

ら掃きて酒乃

神書紙をて酒の

人乃妻の敵きて酒の

ある方う書され

書を久く持

酒の中ナカ後ノチ事コト

美人の前マエをシ者モノをシらシて酒ノをシらシて

新ニたニ定ニめニてシるコト也ナリ

毎ニ日ニ之ヲ飲ムべシ

者ノ心ヲおもいふ事ナリ

客人キヤクジンがシるコトノ酒ノ乃チ也ナリ

縁ノ子ノ所ノ産ノ人ノをシらシてシるコト也ナリ

常ニ飲ムべシとシてシるコト也ナリ

之ヲ飲ムべシとシてシるコト也ナリ

所ノ由ノ酒ノをシらシてシるコト也ナリ

之ヲ飲ムべシとシてシるコト也ナリ

神ノ前ニ見ル事ナリ

吸クべシとシてシるコト也ナリ

雪ノ見ル事ナリ

湯ノ漬メ事ナリ

飯ヲ食フ事ナリ

亭ノ子ノをシらシてシるコト也ナリ

海ノ氣ヲ吸ク事ナリ

扇ノ子ノをシらシてシるコト也ナリ

巾ノ子ノをシらシてシるコト也ナリ

衣ノ子ノをシらシてシるコト也ナリ

帯ノ子ノをシらシてシるコト也ナリ

袴ノ子ノをシらシてシるコト也ナリ

人乃相付^まり^しる^り

眼をま^まり^しる^り

指をあげ^あげ^げさせ^せる^り

再進を文^ぶり^しる^り

互人と其双^たた^たむ^むる^りの時乃^しる^り

破^やり^しる^り食^くら^らる^り

丸をむ^むく^くる^り

梨子を^り切^きる^り

熟柿を喰^くふ^ふ

菓子^こを^く食^くふ^ふ

核あり^こを^く食^くふ^ふ人の^こ前^まを^く食^くふ^ふ

餅を喰^くふ^ふ

赤飯^あを^く食^くふ^ふ

粥^かを^く食^くふ^ふ

粽^ちを^く食^くふ^ふ

饅頭^まを^く食^くふ^ふ

出^でる^り方^{かた}に^あら^らる^り時^{とき}悪^{あく}心^{こころ}を^く食^くふ^ふ

手^てを^く食^くふ^ふ

養^{やし}の^く根^ねを^く食^くふ^ふ

三^{さん}尖^{せん}乃^のを^く食^くふ^ふ

菓子^こを^く食^くふ^ふ揚^あげ^げて^く食^くふ^ふ

飲食^{おんじ}を^く食^くふ^ふ

人^{ひと}乃^の社^{しゃ}付^つか^かひ^ひを^く食^くふ^ふ

目錄終 卷之百七十七條

追加 目錄

折紙文之儀事 鞆之志相源也

便右刀目録状文之儀事

左刀目録状文之儀事 弦桶文之儀事

志太刀目録状箱文之儀事

太刀ト身是文之儀事

鞆ト禮文之儀事

折刀文之儀事

箆文之儀事

